

「皇居・乾通りの初冬」塚越としを

小春日きんじょうや今上天皇・祝傘寿

曼茶羅まんだらにけふる紅葉いぬいぼりや乾濠

遠黄葉とおもみぢ視界を占める御空かな

局門つばねもん真紅の紅葉まゝかつ散れる

冬日燦群集ほほの歩歩ほほ紅葉路

道灌濠どうかんぼり水柔らかき紅葉色

色変えぬ松借景もみに冬紅葉

唐楓どうかえでに力瘤ちからこぶあり黄葉もみづれる

石垣いしきりに錦ぞうきや雑木ぞうき紅葉散る

緑青ろくしやうに散華さんげの木の葉乾門

◆天皇・傘寿：今上天皇は、昨年の誕生日（十二月二十三日）に傘寿（八十歳）を迎えられ、その祝賀行事の一として、皇居乾通りが今年の春・秋に一般初公開された。
尚、皇后陛下も今年に傘寿を迎えられた。

◆遠黄葉：この黄葉は银杏であり、遠くの高台に大きく聳え立つ。

◆局門：乾通りの中程に寂びた開かず（？）の門がある。大奥の女中が出入りしていたとか。

◆道灌濠：吹上御苑に続く深山幽谷の景の深堀。木々の枝が水面を覆って水鏡をなしている。

◆色変えぬ松：季節に拘らず、緑のまま色を変えぬ松のことで、八千代のいのちを讃える。

◆乾門：宮殿のある旧西の丸の裏門にあたり、この度の公開は坂下門から乾門（皇居の北西にある門の意）にかけて行われた。緑青色の屋根に冬紅葉が舞っている。

平成二十六年十二月